

教育ひょうご

08対県確定闘争

第一波統一決起集会

9月22日(月)、兵教組と県職労は「第一波統一決起集会」を開催。兵教組から1,130名が参加した。集会冒頭、両組合を代表し、兵教組の山名幸一執行委員長は「県人事委員会に対し、減額措置後の給与に基づく公民校を基本とすること、生活水準の維持改善につながる勧告を出す」との2点を主な要求として、今集会を提起に決意を固め、最後の最後まで団結し、闘い抜いていこう」とあいさつした。

また、人事委員会要請行をさらに強める。賃金もさることながら、今、非常に増え続けている心の病の問題も対県要請でふたたい。兵教組・県職労は対県共闘組合。この第一波統一決起集会を皮切りに、精一杯の闘

9月26日(金)には、地区・支部代表人事委員会要請行動として、各地区の切実な声を人事委員会に届けた。冒頭、ジャンボハガキの追加分として618名分、累計14,440名分(26日段階)を提出。その後、各地区・支部の代表は、大変厳しい現場実態を訴えた。

地区代表発言内容(抜粋)

「独自カットで、賃金は下がり、仕事は増えているという声を聞く。時間単位で考えれば、パートと等しい。物価の高騰など、生活は苦しい。公務員賃金のアップに、民間が続いたという例もあった。民間を待つのではなく、賃金アップしてほしい」(神戸)

「離島(家島)では、船の発着時間の関係で定期券が購入できず、定期券より割高な回数券を使わざるを得ない実態がある。また、港まで自家用車を利用しなければならず、燃料費・駐車場代等、通勤手当だけではまかなえない。交通用具併用者に対する措置を」(中



団結を固めた第一波決起集会(県庁前で、9月22日)

切実な現場実態をもとに強く訴える

独自カット問題、勤務時間適正化、所定内勤務時間短縮、通勤手当問題、臨採教職員の待遇改善など

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 山名幸一
編集人 西嶋保子
電話 078(241)2345
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2008/10・11
No. 1726

2面

・中山前国交相への抗議!!



過去と未来
たつの市播磨高原東中学校 二年 西畑 翔
遠いところに木があった
大きな大きな老いた木が あった
何百年と時がたち
今まで来た
歴史が見える
すぐ足下に芽がある
小さな小さな若い芽が ある
何百年と時がたち
そのうち大きな木になる
未来が見える

こどもの詩と絵第28集より



「通勤手段が車しかない。地域の特性上、自家用車は公用車のような役割も果たしている。ガソリン代の高騰などにより、大幅な持ち出しの状態が続いている」(西播・但馬・丹波・淡路)「公共交通機関の現状から、止むを得ず交通機関・交通用具を併用すること」で、駐車場・駐輪場代が「登校してから帰宅するまで、実質休憩は取れない。帰宅後も生徒指導等での呼び出しがある。子どものこ

三田市議会議員選挙

ひわだ充さん当選

みなさまのご支援ありがとうございました



三田市議会議員選挙は、定数24に対し30人が立候補した。ひわだ充さんは、兵教組三田支部兵教組事務職員部をはじめ、全県からの支援を得て1,811票、10位で見事に当選を果たした。難しい2期目の挑戦を勝利することができた。こ

ボーナス予約のご案内

創立40周年記念定期

ボーナス予約 振込

いずれかでお預け入れいただくと

1年もの限定(上乗せ利率0.2%)

1年もの 0.90% (税引後年利率0.72%)

通常利率 0.70% (税引後年利率0.56%)

楽しみプラン 先が楽しみな高利率! 計画的に預けて、しっかり預金

定期預金コース 通常利率

1年もの 0.70% (税引後年利率0.56%)

2年もの 0.80% (税引後年利率0.64%)

3年もの 0.90% (税引後年利率0.72%)

5年もの 1.10% (税引後年利率0.88%)

自由なプラン いつでも自由に払い戻し可能! 無理せず貯まる、うれしい積立

臨時積立コース

変動金利 半年複利 0.50% (税引後年利率0.40%)

ボーナス予約受付締切

県費会員: 11月25日(火) 市町費会員: 11月14日(金)

預金に関するお問い合わせは、支部事務所又は信用共済部まで

(財)兵庫県学校厚生会 信用共済部 TEL (078)331-9974 (直通)
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34 <https://www.kouseikai.jp>



創立40周年記念定期キャンペーン振込期間: 2008年12月1日~2009年1月7日まで
※キャンペーン期間中に満期を迎え、自動継続となる定期預金及び積立預金から定期預金への振替え、現金との合算による継続定期預金は対象となりません。
※記念定期利率の適用は初回満期日までとなります。(ご継続後は、継続時の通常利率を適用いたします。)

日教組への荒唐無稽な批判つづく

このような言葉に惑わされず、私たちの教育に誇りを持とう！

中山前国交相への抗議！！

これまでの経緯

中山成彬前国土交通大臣は、9月25日 成田問題を「ごね得」という戦後教育が悪く、公共の精神が無い。外国人観光客の誘致問題を「日本はずいぶん内向きな単一民族」。大分県教委の教員採用汚職について、「日教組の子どもは成績が悪くても先生になる。だから大分県の学力は低い」「日教組の強いところは学力が低い」「全国学力テストを提唱したのは、日教組の強いところは学力が低いのでは」と思ってから。現にそう。だから学力テストを実施する役目は終わった」などと語り、数時間後「誤解を招く発言であった」として発言を撤回。

9月26日 国交省に、千葉県知事や北海道ウタリ協会など、関係者からの抗議が相次ぐ。日教組は、岡本泰良書記長談話「中山成彬国土交通大臣の日教組への誹謗・中傷に対する書記長談話」を発表。中村謙中央執行委員長名の抗議文（下記掲載）を手に関交省へ出向くが、本人との面会を断られる。

9月27日 宮崎の会合で、「日教組は解体する」「日本の教育の『がん』である日教組をぶっ壊すために、私が先頭に立つ」と暴言を繰り返す。

9月28日 閣僚を辞任。日教組批判を「確信的」「国民の関心を引きたかった」と発言。また、「撤回するわけにはいかない」と反省の色は無い。

閣僚・議員としての

資質が問われる

これらは、歴史的経緯や事実関係、政府見解さえも踏まえられていない。成田問題で政府は95年に閣議了解を得た上、反対派農家に謝罪文を提出している。また、今年6月にはアイヌ民族の先住民族

認定の決議が、国会で全会一致で採択されたばかり。ごね得や単一民族発言には、中山大臣は「舌足らずだった」と発言を撤回した。しかし、日教組批判には謝罪をするどころか、「日本教育のガン」「日教組をぶっ壊す運動の先頭に立つ」などの暴言を繰り返した。

権力の乱用を露呈

さらに、小泉政権時代、文部科学相だった中山氏は、学力テストの実施を提唱。学力向上の指導が目的だったはずが、「日教組と低学力の関係を見たかった」と言っている。毎年60億円もかけるテストが、何の根拠もない日教組と低学力の関係の検討のためならば、これは権力の乱用である。文科省が公表する調査結果からも、日教組の組織率と学力との相関関係はないことは明らかだ。

私たちの教育に

誇りを持とう

全国の教職員組合の連合体である「日教組」を「ぶっ壊す」とは、憲法で保障された「集会・結社・表現の自由」に抵触する。日教組各県単組の多くも人事委員会に登録された合法的組織だ。日教組に対する誤った偏見に基づく、誹謗・中傷発言は、断じて容認できない。

中山大臣の一連の発言に対し、新聞・マスコミの報道も批判的なものが多く、任命した麻生首相の責任を問う声も多い。私たちは多くの理解者の声を背に、偏見と間違った認識の言葉に惑わされること無く、兵庫の教育、日本の教育の担い手としての誇りを持とう。そして、目の前にいる子どもたちのため、さらなる日々の実践に力をつくもう。

日本教職員組合・日本労働組合総連合会 抗議文

参議院議員
中山 成 彬 様

2008年 9月28日

日本教職員組合
中央執行委員長 中村 謙

あなたは、「失言3連発」で批判を浴びたにも関わらず、問題発言に対する謝罪をするどころか、「日教組をぶっ壊す」「日本の教育のガン」など、日教組に対する暴言を繰り返しました。憲法で保障された「集会・結社・表現の自由」に抵触し、日教組に対する誤った偏見に基づく誹謗・中傷発言は、断じて容認できません。

日本教職員組合は、発言に対し下記の点から厳重に抗議するとともに、発言の撤回及び謝罪を強く求めます。

記

一、私たち教職員は、日々、子どもたちと向き合い教育活動を通して次の世代の主権者として育成する社会的責任を負っています。日教組は、地域の厳しい現実、著しい変化をとげる現代社会の中で、子どもたちをめぐる教育課題に向き合い、子ども一人ひとりのゆたかな学びを保障する視点から、教育実践を展開するとともに、教育条件整備・充実にむけたとりくみをすすめています。あなたの発言は、全国各地の学校現場の教職員の不断の努力を踏みにじるものです。

一、「日教組の強いところは学力が低い」発言は何の根拠もなく、学力調査結果からも相関関係はないことは、明確になっています。学力調査の結果で明らかになった喫緊の課題は、教育条件の整備・改善策です。重大な問題は、日教組を誹謗・中傷しただけでなく、一方的な個人の思いを理由に、日本の教育行政の責任者である文科大臣（当時）の権力を乱用し、毎年60億円を超える予算を投じる全国学力テスト導入を提唱したことです。

内閣総理大臣
麻 生 太 郎 様

2008年 9月28日

日本教職員組合
中央執行委員長 中村 謙

中山前国土交通大臣は、「失言3連発」で批判を浴びたにも関わらず、問題発言に対する謝罪をするどころか、日教組に対する暴言を繰り返しました。憲法で保障された「集会・結社・表現の自由」に抵触し、誤った偏見に基づく誹謗・中傷発言は、断じて容認できません。

私たち教職員は、日々、子どもたちと向き合い教育活動を通して次の世代の主権者として育成する社会的責任を負っています。中山前大臣の発言は、全国各地の学校現場の教職員の不断の努力を踏みにじるものです。また、「日教組の強いところは学力が低い」発言は何の根拠もなく、学力調査結果からも相関関係はないことは、明確になっています。

学力調査の結果で明らかになった喫緊の課題は、教育条件の整備・改善策です。重大な問題は、日教組を誹謗・中傷しただけでなく、一方的な個人の思いを理由に、日本の教育行政の責任者である文科大臣（当時）の権力を乱用し、毎年60億円を超える予算を投じる全国学力テスト導入を提唱したことです。

本日、様々な批判を受け、大臣職を辞任されましたが、憲法を尊重し擁護する義務を負う国務大臣として辞任は当然です。個人的な偏った思想を国務大臣という公人の立場で発言したことは、政治家としての資質・見識が問われています。

日本教職員組合は、麻生内閣総理大臣に対して、以下のことを強く求めます。

記

一、任命責任者としての明確な謝罪を強く求めます。

以上

2008年 9月30日

前国土交通大臣発言に対する抗議声明

日本労働組合総連合会
会長 高木 剛

1. 中山成彬前国土交通大臣は、25日、報道各社のインタビューで、成田空港拡張への反対を「ごね得」、観光政策に関し「日本は単一民族」、「日教組が強いところが学力が低い」などと発言した。前者の二点については撤回し陳謝したが、27日には現職閣僚の立場のまま、「日本の教育のガンは日教組だと思っている」「日教組をぶっ壊す最先頭に立つ」と述べ、日教組に関わる発言を撤回しないと宣言し、「集会・結社・表現の自由」にまで抵触する誹謗中傷を繰り返した。

2. 同氏は、野党からの追及はもとより与党内部からも、事実にもとづかない発言や閣僚としての発言の重みを認識しない等の厳しい批判が噴出する中で、28日、辞任に追い込まれた。所管する課題への認識の誤りや甘さは、同氏が閣僚の資質を持ち得ていなかったことの証左である。問題発言を撤回、謝罪し大臣を辞任することは当然であるが、それで落着く問題ではない。

3. 民主主義の基盤である基本的人権を率先して擁護すべき内閣・閣僚が、憲法が保障する「結社の自由」を公然と否定し、事実反する発言を撤回するどころか一層エスカレートさせているという前代未聞の事態は、日本の民主主義にとって極めて深刻である。

任命した麻生総理大臣の見識と責任が厳しく問われており、麻生内閣は行政の最高機関としての見解を表明し、事態の責任を明確にしなければならない。

4. 連合は、合法的に存在している労働組合を現職閣僚が否定し、解体する等の発言と行為を断じて容認しない。あわせて、中山前大臣の事実反する誹謗・中傷発言に強く抗議し、撤回と謝罪を求める。

連合は以上の認識に立ち、麻生総理大臣に対し、一連の事態に対する内閣としての謝罪、見解の表明を求める。

以上

保障の見直しなら今!! あなたのライフステージをサポート

団体生命共済・医療共済

<中途・追加>加入募集中

いますぐご加入！

団体生命共済

1口あたりの保障内容

※保障額は
100万円（1口）
～2000万円（20口）
の範囲でお選び下さい

最高20口（死亡・高度障害2,000万円）までご契約いただけます

支払事由		1口あたりの 共済金額	1口あたりの 月掛金額
死亡・高度障害	死亡または所定の高度障害状態となったとき	100万円	270円 ※60歳以下の場合
公務・交通災害死亡	所定の公務上死亡または交通災害死亡されたとき	150万円	
障 害	所定の障害状態となったとき	40万～5万円	

団体生命
共済の
ポイント

※「高度障害」とは、両眼の失明や咀嚼および言語機能を失うなど、教職員共済生協所定の身体障害等級表に該当する障害のことをいいます。

※「障害」とは、教職員共済生協所定の身体障害等級表に該当する、「高度障害」以外の障害のことをいいます。

※公務・交通災害死亡の共済金が支払われた場合、死亡・高度障害での共済金は支払われません。

※団体生命共済は、ご年齢により契約限度口数が異なります。

60歳以下…20口 61～70歳…10口 71～80歳…5口 21歳以下のお子さま…20口

契約例		入院 5,000 円タイプの場合 (医療スタンダード5口＝基本契約+長期入院特約+手術特約+退院特約)	
死亡 2,000 万円タイプ (20口)	死亡・高度障害	2,000 万円	1泊2日入院からOK！ ●1泊2日入院につき 5,000 円 ●1入院につき年間180日まで（ガン入院は10,000円） ●180日以上の継続入院に
	公務・交通災害死亡	3,000 万円	長期入院 一時金で 15万円 ●180日以上の継続入院に
	所定の障害	800 万～100 万円	手術 一時金で 20万～5万円 ●所定の手術に
			退院 一時金で 5万円 ●20日以上継続入院後の退院に
月掛金 5,400円		月掛金 1,750円（60歳以下の場合）	

「もしも」のときに頼りになる、
教職員共済生協の共済をご利用ください



この広告は、団体生命共済の概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください、制度内容をご確認下さい。

教職員共済生活協同組合兵庫県支部 TEL 078-221-9730
神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4階 承08-56-05(0805)

承08-56-15(0807)